



週間情報



No.0806

発行日 令和8年2月10日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 全国消防長会常任理事会を開催

全国消防長会

令和8年2月3日（火）、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において、全国消防長会常任理事会を開催しました。

常任理事会における議案審議と報告事項は、次のとおりです。

【議案審議】

- 1 令和7年度収支予算の補正（案）について
- 2 令和8年度事業計画（案）及び令和8年度収支予算概算（案）について
- 3 次期常任理事会の開催について

【報告事項】

- 1 令和7年度中における要望活動等について
- 2 大分市大規模火災における全国消防長会調査団の派遣結果について
- 3 関西エリアの大規模通信障害に係る全国消防長会技術委員会からNTTへの申入れについて
- 4 消防車両の供給等について
- 5 会費改定の予定について
- 6 日本消防防災情報センターに係る活動動画の素材提供状況等について
- 7 会議資料のペーパーレス化（試行）について
- 8 大阪市中央区で発生したビル火災事故調査報告書について

【配布資料】

- 1 新採用職員に対する消防団体保険への加入促進について



【常任理事会の様子】

◆ 一般財団法人全国消防協会通常理事会・臨時評議員会を開催

一般財団法人全国消防協会

令和8年2月3日（火）、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において、一般財団法人全国消防協会通常理事会及び臨時評議員会を開催しました。

通常理事会及び臨時評議員会における議案審議と報告事項は、次のとおりです。

○通常理事会

【議案審議】

- 1 令和8年度事業計画及び収支予算（案）について
- 2 臨時評議員会の開催について
- 3 賛助会員の加入について

【報告事項】

- 1 職務の執行状況の報告について
- 2 臨時理事会の開催について
- 3 令和8年度全国優良消防職員表彰式の日程について
- 4 令和7年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の応募状況等について
- 5 会議資料のペーパーレス化（試行）について

○臨時評議員会

【議案審議】

- 1 令和8年度事業計画及び収支予算（案）について

【報告事項】

- 1 臨時評議員会の開催について
- 2 賛助会員の加入について
- 3 令和8年度全国優良消防職員表彰式の日程について
- 4 令和7年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の応募状況等について
- 5 会議資料のペーパーレス化（試行）について



【通常理事会の様子】



【臨時評議員会の様子】

◆ 関西エリアの大規模通信障害に係る全国消防長会技術委員会からNTTへの申入れを実施 全国消防長会技術委員会

令和8年1月16日（金）、23日（金）、令和7年度全国消防長会技術委員会の審議結果を受け、NTT西日本株式会社およびNTT東日本株式会社に対し、「通信障害に対する体制強化に関する申入れ」を行いました。

本件は、令和7年9月16日（火）、NTT西日本株式会社の通信サービス提供エリアにおいて、電話回線などの通信障害が51分間発生したことにより、119番通報が受信できない状態やつながりにくい状態が発生し、尼崎市・伊丹市消防指令センター管内では、重篤な傷病者が発生した救急要請に対し、兵庫県警察本部通信指令室から同指令センターへの転送により覚知したため、救急出場が約15分間遅延した事案が発生したものです。

技術委員会は、この事案を重く受け止め、令和7年11月に開催された常任委員会において、両社に対し、通信障害に対する体制強化を求める申入れを行うことを決定し、下記のとおり申入れを行いました。

【申入れ内容】

- 1 今回と同様な大規模通信障害発生に対しての再発防止対策を講じることについて
通信障害による緊急回線の不通が生じないよう再発防止策などを検討いただくとともに、その対策を推進すること。
- 2 通信障害発生状況を早期に各消防本部へ伝達する体制を更に強化することについて
 - (1) 事業者のオペレーション体制強化と通信障害発生時における迅速な連絡の徹底
通信障害発生時におけるオペレーション体制を強化していただくとともに、各消防本部へ発生状況を速やかに連絡すること。
 - (2) 消防本部との連携強化
 - ア 連絡手段の冗長化の推進
通信障害時においても各消防本部が何らかの手段で確実に連絡を受け取ることができるよう、各消防本部と連携し、冗長化の推進を図ること。
 - イ 継続した習熟訓練の実施および定期的な連絡先登録の確認
消防本部と連携した定期的な習熟訓練を継続実施し、通信障害発生時における適切なオペレーションを構築するとともに、定期的な連絡先登録の確認に取り組むこと。



【左から、長谷川技術委員会副委員長（西宮市消防局長）、奥田サービスマネジメント部長（NTT西日本㈱）、島田技術委員会委員長（さいたま市消防局長）】



【左から、宅間サービス運営部長（NTT東日本㈱）、島田技術委員会委員長（さいたま市消防局長）】

消防本部の動き

行事

◆ 「南消防署 開署式」を挙行

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和8年1月15日（木）、「南消防署 開署式」を挙行了しました。

この新庁舎は、旧南消防署が昭和41年に竣工してから60年もの間、地域の災害対応拠点として重要な役割を果たしてきたことを踏まえ、老朽化の進行や日々変化する災害への対応力の強化を図ることを目的として整備したものです。

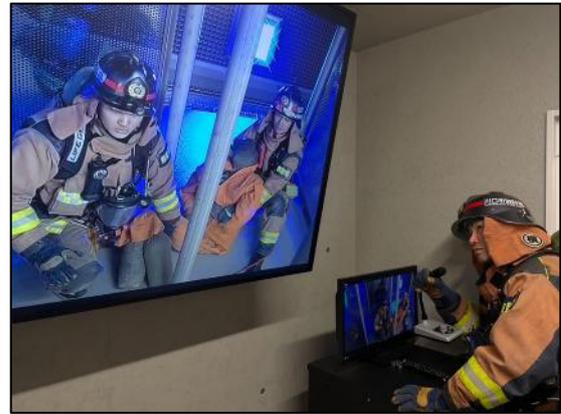
その移転先として、旧横曽根分署を改築し、現場を指揮・統括する指揮隊や高度な救助活動を担う高度救助隊を配置したほか、事務職員を配置して予防業務の基盤も整備しました。

また、敷地内に「火災体感型訓練施設」を新設し、ジェットヒーターおよび煙発生装置を活用して濃煙熱気を作ることで火災現場の状況を再現することができるほか、「LED型訓練現示装置」を設置し、部屋全体を赤・黄・青のLED照明で照らすことで、室内の延焼状況を視覚的に提示できる設備となっています。

この新庁舎により、より実践的な消火訓練や救助・救出訓練を行うことが可能となり、隊員の技術力の向上と災害対応力の強化につながることを期待されます。



【開署式の様子】



【LED型訓練現示装置】

◆ 「緊急消防援助隊受援時における活動拠点に関する協定」を締結

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和8年1月22日（木）、日東工業株式会社（本社所在地：愛知県長久手市）と「緊急消防援助隊受援時における活動拠点に関する協定」を締結しました。

この協定は、管轄内外で大規模災害が発生した際、緊急消防援助隊を円滑に受け入れるための活動拠点として、当消防本部が消防事務を受託している野木町に所在する同社栃木野木工場の敷地をご提供いただくことを目的として締結したものです。

当日は、協定の締結に際し、当消防本部の中田保幸消防長が、「住民の安全・安心につながる取り組みであり、今後も災害対応力の強化を継続していきます。」と述べました。

この協定締結により、迅速かつ的確な消防活動の実施につながることを期待されます。



【締結後の記念撮影】

訓練

◆ 救急総合シミュレーション訓練を実施

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部では、令和8年1月20日（火）、救急総合シミュレーション訓練を実施しました。

この訓練は、救急業務に関する知識・技術の向上と支援隊との連携強化を図るとともに、救急プロトコルを再確認することを目的として実施したものです。

当日は、隊員29人が参加し、3症例の想定訓練において、「心肺停止の傷病者」に対する救急救命士としての容態観察と判断、救急処置要領、救急隊と支援隊の連携要領について確認しました。

また、筑波メディカルセンター病院の榎木医師をメディカルアドバイザーとしてお招きし、全体の活動を検証していただきました。

今後も、訓練を継続し、各隊との連携強化を図るとともに、救急業務に関する知識・技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【検討会の様子】

◆ 文化財防火デーに伴う消防訓練を実施

岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和8年1月21日（水）、県指定文化財である「岩国学校校舎」において、文化財防火デーに伴う消防訓練を実施しました。

この岩国学校は、明治4年に開校し、ここで学んだ著名人には「日本の電気界の父」とも呼ばれる藤岡市助や大正から平成にかけて活躍した小説家宇野千代がいます。

同学校校舎は、明治3年に新築され、「アーチ窓」など洋風建築の意匠も取り入れた擬洋風の建物で、現存する明治初期の学校建築物として大変貴重なものであることから、昭和44年に県指定文化財となり、毎年訓練が行われています。

当日は、火災を想定した訓練において、地元自治会員や婦人会員が水バケツによる消火活動を行った後、消防隊が逃げ遅れた要救助者を救出したほか、地元消防団と連携した一斉放水を実施しました。

この訓練を通じて、文化財を守るためには、地域住民との連携・協力が重要であることを再認識することができました。



【訓練の様子】

◆ 文化財防火デーに伴う消防訓練を実施

取手市消防本部（茨城）

取手市消防本部では、令和8年1月23日（金）、市指定文化財の「白山神社」において、文化財防火デーに伴う消防訓練を実施しました。

当日は、関係者や地域住民が参加し、「本殿付近から出火した。」との想定で、119番通報訓練、避難訓練、初期消火訓練を行い、火災発生時の対応要領を再確認するとともに、訓練の最後には、消防職団員と関係者が連携して一斉放水を実施しました。

今後も、貴重な文化財を火災などの災害から守り、後世につないでいけるよう、地域と連携した訓練を実施し、防火・防災体制の充実強化に努めてまいります。



【白山神社本殿】



【訓練の様子】

◆ 「4都市合同訓練」を実施

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、令和8年1月23日（金）、横浜ヘリポートにおいて、横須賀市消防局、鎌倉市消防本部、逗子市消防本部と、「4都市合同訓練」を実施しました。

この訓練は、「神奈川県下消防相互応援協定」に基づき、隣接した各消防本部が災害時において円滑な現場活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、「地上の消防隊が活動困難な大規模林野火災が発生した。」との想定で、各消防本部が交代しながら消防車から当消防局消防航空隊の消火バケットへ補水を実施した後、火点への空中消火（バケット散水）を行いました。

今後も、各消防本部との連携訓練を継続し、災害対応能力の向上を図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 県警察本部山岳警備隊と合同で雪崩遭難救助訓練を実施

砺波地域消防組合消防本部（富山）

砺波地域消防組合消防本部では、令和8年1月23日（金）、管内にある高落場山において、富山県警察本部山岳警備隊と合同で雪崩遭難救助訓練を実施しました。

この訓練は、雪崩遭難事故発生時における迅速かつ的確な救助活動体制を確立するとともに、関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、入山前の資器材選定、ビーコンの動作確認、危険予知活動を行った後、救助活動では、ビーコンを活用した要救助者捜索から、プロービング、掘り出し、パッキング、要救助者搬送までを実施し、実災害に即した災害対応要領を再確認することができました。

この訓練を通じて、関係機関との情報共有体制を構築するとともに、指揮系統の連携強化を図ることができ、今後の雪崩遭難救助活動に向けた有効な検証の場となりました。

今後も、訓練を継続的にし、総合的な災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 文化財防火デーに伴う総合消防訓練を実施

那賀消防組合消防本部（和歌山）

那賀消防組合消防本部では、令和8年1月24日（土）、8世紀に創建されたと言われている西国三十三所観音巡礼第3番札所の「粉河寺」において、文化財防火デーに伴う総合消防訓練を実施しました。

当日は、粉河寺自衛消防隊員4人、紀の川市消防団員25人、当消防本部職員18人が参加し、時折雪が降る中、実践さながらの迅速な消防活動を実施しました。

文化財を火災から守り、次の世代に伝えていくためには、今後も、所有者、消防機関、地域が一体となって、火災を発生させない環境を構築するとともに、訓練、火災予防に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 文化財防火デーに伴う消防訓練を実施

日光市消防本部（栃木）

日光市消防本部では、令和8年1月26日（月）、世界遺産「日光の社寺」に属する「二荒山神社」において、文化財防火デーに伴う消防訓練を実施しました。

この訓練は、自衛消防隊の防火・防災体制を再確認するとともに、自衛消防組織の実効性を検証することを目的として、毎年実施しているものです。

当日は、同神社の自衛消防隊のほか、他の社寺の各自衛消防隊などが参加し、「二荒山神社において火災が発生した。」との想定で、実際の活動動線や施設特性を踏まえた活動要領を再確認するとともに、管轄消防署との実務的な連携要領を確認しました。



【訓練の様子】

◆ 結氷環境下で救助訓練を実施

秩父消防本部（埼玉）

秩父消防本部では、令和8年1月26日（月）、管轄する横瀬町にある観光資源「あしがくぼの氷柱」において、同町観光協会にご協力いただき、結氷環境下での救助訓練を実施しました。

この訓練は、結氷環境下における安全かつ確実な救助活動方法を確認するとともに、救助技術の伝承と向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、結氷や積雪などの環境下を想定した訓練を実施したほか、同観光資源を管理する際に発生し得る作業危険について、同協会職員と意見交換を行いました。

今後も、訓練を継続し、関係機関との連携強化を図るとともに、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 国宝「松本城」において消防総合訓練を実施

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和8年1月26日（月）国宝松本城天守において、松本市が主催する文化財防火デーイベントに参加し、消防総合訓練を実施しました。

当日は、「乾小天守から出火し、強風の影響により火災が急速に延焼拡大した。」との想定で、自衛消防隊による初期消火活動と増加するインバウンド観光客に対する多言語による避難誘導を実施したほか、大天守4階に取り残された要救助者をはしご車で救出する訓練を行うなど、参加機関相互の連携体制や災害対応手順を再確認しました。

また、最後には、一斉放水を行い、訓練を締めくくりました。

白と黒の美しいコントラストが印象的な国宝「松本城」を火災から守り、その貴重な文化的価値を次世代へ確実に継承していくため、今後も関係機関と連携した防火・防災対策に積極的に取り組んでまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 高崎芸術劇場で「警防研修会」を開催

高崎市等広域消防局（群馬）

高崎市等広域消防局では、令和8年1月22日（木）、高崎芸術劇場にご協力いただき、消防用設備等の活用を想定した「警防研修会」を開催しました。

この劇場は、地下1階・地上8階建て、総合操作盤が設置された大規模防火対象物で、屋外からの放水やポンプ車からのホース延長では消火活動の実効性が低くなることが想定されます。

そのため、この研修会は、施設職員と消防職員が、有事の際における消防用設備等の有効活用や施設利用者の速やかな避難誘導に関する知識を相互に深めることを目的として、予防課・警防課が合同で企画し、開催したものです。

当日は、職員40人が参加し、施設管理担当者、消防同意に携わった予防課職員、有事の際に活動指揮を執る警防課職員が講師となって研修を行い、消防活動への意識と知識の向上を図ることができました。

今後も、関係機関と連携し、地域の安全・安心のため邁進してまいります。



【研修会の様子】



【高崎芸術劇場】

◆ 令和7年度新任救急救命士教育の最終評価を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和8年1月22日（木）、令和7年度新任救急救命士教育の最終評価を実施しました。

この教育は、入職前に救急救命士養成校で救急救命士の資格を取得した職員を対象に、当消防本部が独自に作成したプログラムを行い、的確な救急活動能力の向上を図り、自立した救急救命士の育成につなげることを目的として、平成26年度から継続して実施しているものです。

当日は、新任救急救命士教育対象職員に対し、救急救命士就業前病院実習修了後の講義、シミュレーション訓練、救急車同乗研修を行った集大成として、当消防本部の管理職職員などが最終評価を行い、無事に合格しました。

今後も、地域住民の皆さまに安全・安心を与えられる救急救命士の育成に取り組んでまいります。



【最終評価の様子】

◆ 「第3回静脈路確保技術向上セミナー」を開催

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、令和8年1月22日（木）、当消防本部屋内訓練場において、救急救命士を対象とした、「第3回静脈路確保技術向上セミナー」を開催しました。

このセミナーは、救急救命士の特定行為である静脈路確保の実施率および成功率の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、管内三次医療機関である大垣市民病院の看護師4人を講師としてお招きし、血管選定、穿刺手技のポイントと、工夫していることなどについて指導・助言をいただきました。

また、経験の浅い救急救命士は、現場経験豊富な先輩救急救命士から指導を受けることができ、教育体制の構築につながる大変有意義なセミナーとなりました。



【セミナーの様子】

◆ 「消防職員版認知症サポーター養成講座」を開催

遠野市消防本部（岩手）

遠野市消防本部では、令和8年1月23日（金）、遠野市総合防災センターにおいて、職員研修の一環として、「消防職員版認知症サポーター養成講座」を開催しました。

当日は、遠野市健康福祉の里健康長寿課の職員を講師としてお招きし、認知症についてご講義いただき、認知症に関する正しい知識と理解を深めることで、救急・災害現場などにおける適切な対応能力の向上につなげることができました。

また、認知症の症状をVRで体験し、より認知症の方の気持ちや行動の背景を知るとともに、具体的な対応方法を学ぶことができ、大変貴重な機会となりました。



【研修の様子】

◆ 女性消防吏員研修を実施

春日部市消防本部（埼玉）

春日部市消防本部では、令和8年1月26日（月）、女性消防吏員および管理職員を対象とした、女性消防吏員研修を実施しました。

この研修は、女性消防吏員の職務上における活躍を積極的に支援することを目的として実施したものです。

当日は、さいたま市消防局で救急救命士としてご活躍されている仲谷智子氏を講師としてお招きし、「女性消防職員としての「やりがい」を見つけ、未来へ繋ぐ～私自身の経験から皆さんと一緒に考えるキャリアデザイン～」と題してご講義いただきました。

また、グループワークを実施し、キャリアとライフプランを切り離さずに捉え、「人生をデザインする」という視点などを学ぶことができ、参加者にとって、今後のキャリア形成を考える上で大変有意義な研修となりました。



【研修の様子】

◆ 「令和7年度救助業務指導者研修」を実施

広島市消防局（広島）

広島市消防局では、令和8年1月28日（水）、「令和7年度救助業務指導者研修」を実施しました。

この研修は、全国で頻発する下水道管老朽化に伴う道路陥没事案を踏まえ、救助活動時における安全管理体制の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、前半に、当市下水道局職員を講師としてお招きし、安全管理に関する知識の向上と下水道業者との連携強化を図るため座学を行いました。

また、後半では、地元建設業者にご協力いただき、現地視察、実際の施設を用いた想定訓練、安全管理資機材の設営などを行い、管内における下水道管の構造などに対する理解を深めることができました。

この研修を通じて、実災害において救助活動を行う上での危険性を確認するとともに、救助プランの検討などを行い、より実践的な災害対応要領を学ぶことができました。

今後も、より一層関係機関との連携を強化し、安全かつ迅速な救助体制の構築に努めてまいります。



【座学の様子】



【実地研修の様子】

その他

◆ 消防功労者に消防総監感謝状などを贈呈

東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和8年1月27日（火）、管内の国士舘大学において、消防功労者の5人に対して消防総監感謝状を、3人に対して消防署長感謝状をそれぞれ贈呈しました。

本事案は、令和7年12月26日（金）、路上において、心肺停止となった女性に対し、同大学の学生4人と同大学警備員1人が連携し、119番通報、胸骨圧迫、AEDを活用した除細動を行い、救急隊に引き継いだものです。

また、令和8年1月9日（金）、同大学近隣の公園で発生した枯草火災に対し、同大学学生3人が連携して、119番通報と消火器などを活用した初期消火を行い、火を消し止めたものです。

救命に携わった学生からは「最初はパニックになりましたが、その後冷静に応急救護ができ、役に立ててよかったです。」、初期消火を行った学生からは「まさか目の前で火事が起こると思いませんでしたが、体がすぐに動きました。今後も人の役に立ちたいです。」と述べられました。

同大学は、当庁への入庁者が多いこともあり、今後の活躍が期待されます。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 「新城消防祭～未来を繋ぐ笑顔の輪～」を開催

新城市消防本部（愛知）

新城市消防本部では、令和8年1月18日（日）、新城市消防団および新城市女性防火クラブと合同で、消防出初式、消防団観閲式、消防防災フェスタを統合した「新城消防祭～未来を繋ぐ笑顔の輪～」を開催しました。

当日は、当消防本部の公式Instagramを活用し、開催前から毎日投稿を行うなどの事前広報により、約3,500人が来場しました。

イベントは、来場した子どもたちと共に行進するパレード方式の式典から始まり、消防救助訓練やボディビルコンテストなどのステージイベントを行ったほか、8種類の消防防災体験コーナーや「しんしろ軽トラ市」が出店し、会場中に笑顔溢れる素敵なものとなりました。

また、来場者に対して「消防祭カード」を配布したほか、Instagramを活用したフォトコンテストを行うなど、当消防本部全職員が主催者としてアイデアを出し合い、さまざまな角度から来場者に「消防」を知っていただけるよう工夫しました。

今後も、住民の皆さまが「消防」をより身近に感じられる催しを企画し、消防行政が伝えるべきさまざまな事柄に興味を持っていただけるように取り組んでまいります。



【イベント後の記念撮影】



【公式Instagramの二次元コード】

◆ 文化財防火デーに伴う特別査察を実施

和泉市消防本部（大阪）

和泉市消防本部では、令和8年1月27日（火）、和泉市久保惣記念美術館において、文化財防火デーに伴う特別査察を実施しました。

この美術館は、国宝や重要文化財に指定された多くの歴史ある美術品を収蔵・展示しているほか、茶会・コンサート・市民作品展・ワークショップを開催するなど、地域の文化交流の場としての機能を有しています。

当日は、中央消防署長が消防用設備の維持管理状況などについて確認したほか、同施設職員による自衛消防訓練を実施しました。

今後も、文化財を保護するため、査察・訓練・広報などを通じて、防災意識の向上に努めてまいります。



【特別査察の様子】



【訓練の様子】

消防学校からの便り

◆ 解体予定の旧校舎を活用した実践的な訓練を実施

青森県消防学校（青森）

青森県消防学校では、令和8年1月19日（月）から28日（水）までの期間中、令和7年12月に新校舎の供用が開始されたことに伴い、解体予定の旧校舎を活用した実践的な訓練を実施しました。

この訓練は、青森県内の消防本部の災害対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

期間中は、青森県内6消防本部の職員112人が参加し、実際の建物を活用した破壊資機材取扱訓練、救助救出訓練、火災を想定した屋内進入訓練などの実践的な訓練を行い、現場経験の少ない職員の知識・技術の向上を図ることができ、非常に有意義な訓練となりました。

今後も、効果的な教育訓練を継続し、災害対応力の向上などに努めてまいります。



【訓練の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ リチウムイオン電池等から出火した火災の調査結果について（通知）

（消防予第34号、令和8年1月29日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素から消防防災行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「リチウムイオン電池等から出火した火災の調査について」（令和7年11月14日付け消防予第509号。）による調査結果について、別添のとおり取りまとめたので送付いたします。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、執務上の参考とされるとともに、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、この旨周知していただきますようお願いいたします。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/6bac8cf280fc57baf0b0b2ac54c3d64abd6c0c31.pdf>）に掲載されています。

消防庁予防課
予防係 川合、谷川、櫻川
電話：03-5253-7523

◆ **令和7年度消防庁補正予算、令和8年度消防庁予算案及び令和8年度の消防防災に関する地方財政措置の見通し等を踏まえた留意事項について**

(事務連絡、令和8年1月30日)

消防庁総務課から各都道府県消防・防災主管部局、各指定都市消防・防災主管部局あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和7年2月に発生した大船渡市林野火災では、緊急消防援助隊、県内消防本部及び消防団において、消防活動や避難誘導等、全力で取り組んでいただいたところです。消防庁では、「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」での検証を行い、政府の令和7年度補正予算（令和7年12月16日成立）や令和8年度当初予算案（同年12月26日閣議決定）において、消防防災力の更なる充実強化に必要な予算を確保しました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260130_soumu_01.pdf) に掲載されています。

◆ **令和8年春季全国火災予防運動の実施について**

(消防予第523号、令和8年1月30日)

消防庁長官から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

本年の春季全国火災予防運動については、令和8年3月1日から7日までの7日間にわたり、別添「令和8年春季全国火災予防運動実施要綱」に基づき、実施することといたします。

貴職におかれましては、本運動及び関連行事への住民の積極的な参加を促し、火災及び災害に強いまちづくりの継続的な推進をお願いいたします。

なお、各都道府県知事におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても周知していただきますようお願いいたします。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/b26e94e256a83f9e327b8256dda6f02e3599d186.pdf>) に掲載されています。

◆ 令和8年春季全国火災予防運動の実施について

(消防予第525号、令和8年1月30日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和8年春季全国火災予防運動については、令和8年1月30日付け消防予第523号により実施要綱を定め、各都道府県知事等あてに消防庁長官から通知したところですが、当該実施要綱に掲げる重点項目等の実施にあたり参考になると考えられる事項を、別添のとおりとりまとめましたので送付します。

なお、前回実施した令和7年秋季全国火災予防運動期間において実施された行事等については「令和7年秋季全国火災予防運動の実施結果について」(令和8年1月6日付け事務連絡)のとおりですので、これらを参考としながら各地域の実情に応じた効果的な運動の実施について検討いただきますようお願いいたします。(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/2.pdf>) に掲載されています。

◆ 大阪府中央区ビル火災事故調査報告書について

(事務連絡、令和8年1月30日)

消防庁消防・救急課、消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和7年8月18日に大阪府中央区宗右衛門町で発生したビル火災について、本日、大阪府消防局から事故調査の最終報告書が公表されました。

報告書では、令和7年12月25日に公表された「大阪府中央区ビル火災事故調査中間報告(概要)」の内容に加え、新たに再発防止策について記載されていますので、今後の消防活動時等の安全管理の参考としていただき、安全管理体制や安全管理マニュアルの再点検等に活用いただくようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260130_yobou_jimu1.pdf) に掲載されています。

消防庁消防・救急課警防係

高木、鈴木

TEL:03-5253-7522

Email:keibou@ml.soumu.go.jp

消防庁予防課企画調整・制度・防災管理係

奥田、辻

TEL:03-5253-7523

Email:fdma-yobouka119@soumu.go.jp

報道発表

◆ 感震ブレーカーの設置促進に向けた取組の強化 —関係府省庁等が連携して取組を進めていきます—

(令和8年1月27日、内閣官房国土強靱化推進室、内閣府政策統括官(防災担当)、
総務省消防庁、経済産業省産業保安・安全グループ、国土交通省住宅局)

今般取りまとめられた「首都直下地震対策検討ワーキンググループ報告書」において、感震ブレーカー等の普及が進むことで、大規模地震が発生したときの焼失棟数を大幅に削減できることが示されました。

これを踏まえ、このたび関係する府省庁、地方公共団体、事業者等が連携し、感震ブレーカーの設置促進に取り組むこととしました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/yobo01.pdf>) に掲載されています。

<問合せ先>

【国土強靱化実施中期計画関係】

内閣官房国土強靱化推進室 石田、岡、小島

電話：03-5253-2111（内線 33755、33744、33714）、直通：03-6257-1775

【感震ブレーカー等の普及による減災効果関係】

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(調査・企画担当)付 武藤、門司、池田

電話：03-5253-2111（内線 51670、51678、51686）、直通：03-5797-7394

【感震ブレーカーの設置に係る計画、補正予算関係】

総務省消防庁予防課 川合、谷川、高木

電話：03-5253-5111（内線 42414、42511、42474）、直通：03-5253-7523

【掲載写真の周知活動関係】

経済産業省大臣官房産業保安・安全グループ電力安全課 正影、弥益、森、清原

電話：03-3501-1511（内線 4921～4929）、直通：03-3501-1742

【著しく危険な密集市街地関係】

国土交通省住宅局市街地建築課 井ノ上、半田

電話：03-5253-8111（内線 39-673、39-674）、直通：03-5253-8517

◆ リチウムイオン電池等から出火した火災の調査結果の公表

(令和8年1月29日、消防庁)

リチウムイオン電池等から出火した火災について、全国の消防機関から報告のあった結果を取りまとめましたので公表します。

リチウムイオン等から出火した火災は、本調査の結果のとおり急増しているところであり、安全な製品の購入、使用時の適切な取扱い、排出時の適切な分別等が重要です。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/6be5cb385831acee905c811ed30098cb8a106ec3.pdf>) に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁予防課 川合・谷川・櫻川

TEL：03-5253-7523 FAX：03-5253-7533

◆ 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施

(令和8年2月2日、内閣官房、消防庁)

神奈川県及び同県中井町が国と共同で、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施することが、以下のとおり決定しました。

また、今年度は、本訓練を含め、35件の訓練を実施する予定としておりますので、併せてお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/867cac1dd5b5ab1355b7121a11890c2becb4c4cf.pdf>) に掲載されています。

【問い合わせ先】

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付

内閣参事官 渡 眞 利 諭

参事官補佐 眞保 智光、阿部 修也

TEL 03-3581-8485

消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室

国民保護運用室長 山下 義弘

課長補佐 関本 徹

係長 山本 準也

TEL 03-5253-7551

◆ 「第30回防災まちづくり大賞」受賞団体の決定

(令和8年2月3日、消防庁)

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、今回で30回目を迎えました。地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

この度、防災まちづくり大賞選定会議（選定会議委員は別紙2のとおり）において、「第30回防災まちづくり大賞」の受賞団体を次のとおり決定しましたので、お知らせします。（別紙省略）
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/30kaiboumatitaishou.pdf>) に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁国民保護・防災部地域防災室

土田課長補佐、林事務官、松澤事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail：chiikibousai/atmark/ml.soumu.go.jp

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しておりますので、送信の際は、「@」に置き換えてください。

情報提供

◆ **新採用職員のための消防団体保険のご案内**

一般財団法人全国消防協会

本協会では、4月から新たに消防職員になられる皆さまに万一のケガや病気などに備えていただくために、充実した保障（補償）の消防団体保険をご案内しております。

新採用職員の皆さまには、募集期間を特別に延長し対応させていただきます。

消防団体保険は、全国の消防職員（本協会会員）とそのご家族のみを対象とする助け合いの保険制度です。

各種保険パンフレットなどは、専用封筒にて各消防本部のご担当者さまから採用前の説明会や制服の試着・採寸の際などに新採用職員全員にお渡しします。

なお、新採用職員の皆さまには4月以降に各消防学校においても消防団体保険の説明会を実施する予定です。



★**ご案内している保険のラインアップ！！**

保険名称	保険期間	申込書提出締切日							
<table border="1"> <tr> <td>全国消防グループ保険</td> <td rowspan="5"> 令和8年6月1日～令和9年5月31日 ※ 「全国消防グループ保険」に加入することによって、この4つの保障にも加入することができます。 </td> <td rowspan="5"> <u>令和8年4月8日（水）</u> <u>（各本部担当者への提出締切日です。）</u> </td> </tr> <tr> <td>医療費支援制度</td> </tr> <tr> <td>三大疾病保険</td> </tr> <tr> <td>医療保障保険</td> </tr> <tr> <td>プラスサポート生命保障</td> </tr> </table>	全国消防グループ保険	令和8年6月1日～令和9年5月31日 ※ 「全国消防グループ保険」に加入することによって、この4つの保障にも加入することができます。	<u>令和8年4月8日（水）</u> <u>（各本部担当者への提出締切日です。）</u>	医療費支援制度	三大疾病保険	医療保障保険	プラスサポート生命保障		
全国消防グループ保険	令和8年6月1日～令和9年5月31日 ※ 「全国消防グループ保険」に加入することによって、この4つの保障にも加入することができます。			<u>令和8年4月8日（水）</u> <u>（各本部担当者への提出締切日です。）</u>					
医療費支援制度									
三大疾病保険									
医療保障保険									
プラスサポート生命保障									
消防職員傷害保険 （新採用プラン）	令和8年5月1日～令和9年1月1日	<u>【加入申込書】</u> <u>令和8年4月8日（水）</u> <u>（各本部担当者への提出締切日です。）</u>							
消防職員医療保険 （新採用プラン）	※ LINEからでも簡単に加入申込みができます。	<u>【LINE】</u> <u>令和8年4月30日（木）</u> <u>（協会 Web 申込み締切日です。）</u>							

★**充実した保障（補償）内容！！**

保険名称	主な保障（補償）内容
全国消防グループ	① 死亡・高度障害を加入コースに応じて 保険金（一時金）165万から2,400万円まで保障 ② 5日以上のケガによる入院を1日目から保障 ③ 現職中に加入すれば退職後も80歳まで継続加入可能 ※ 加入できる保障額に制限があります。 ④ 配当金制度により保険料の実質負担が軽減されます。 【令和6年度の配当率】50.928%

保険名称	主な保障（補償）内容
医療費支援制度	① 病気やケガで入院した場合に、入院日数に関わらず、1回の入院につき、入院初期費用保険金として、一時金 30,000円 を給付 ② 入院月数に応じて1月につき、入院支援保険金として 25,000円 を給付 (例) 日帰り入院の場合 30,000円+25,000円=55,000円 を給付 ③ 現職中に加入すれば退職後も 80歳 まで継続加入可能
医療保障保険	① 5日以上のケガと病気による入院を5日目から保障 ② 現職中に加入すれば退職後は「消防退職者医療保険」(5,000円 タイプ)に無告知で移行して加入可能で、 89歳 まで継続加入可能 ③ 配当金制度により保険料の実質負担が軽減されます。 【令和6年度の配当率】40.761%
三大疾病保険	① がん、急性心筋梗塞、脳卒中 に対する一時金の生存給付を保障 ② 死亡・高度障害 の際にも上記一時金と同額の給付金を保障 ③ リビングニーズ特約付 ④ 現職中に加入すれば退職後も 70歳 まで継続加入可能
プラスサポート生命保障	① 死亡・高度障害 の際に一時金 300万円 を保障 ② 現職中に加入すれば退職後も 70歳 まで継続加入可能 ③ 加入時の保険料率は 70歳 まで変更なし ④ リビングニーズ特約付
消防職員傷害保険(新採用プラン)	① ケガ による通院、入院を1日目から補償 ② ケガ による手術、死亡、後遺障害を補償 ③ 天災危険補償特約 (地震、噴火またはこれらによる津波などの天災によるケガ)、 熱中症危険補償特約 、 特定感染症危険補償特約 、 個人賠償責任補償特約 を付帯
消防職員医療保険(新採用プラン)	① ケガと病気 による入院を1日目から補償 ② ケガと病気 による手術を補償 ③ ケガと病気 による死亡を最大 100万円 補償 ④ 天災危険補償特約 (地震、噴火またはこれらによる津波などの天災によるケガ)を付帯 ⑤ 先進医療 に要する費用等の実費を 300万円 限度に補償

- 各保険の詳細につきましては、各消防本部に送付いたしましたパンフレットなどまたは協会ホームページ (<https://www.ffaj-shobo.or.jp/hoken/>) をご覧ください。
- 本件についてご不明な点などは、以下の本協会各担当までお問い合わせください。

全国消防グループ(生命保険)
 一般財団法人全国消防協会
 担 当 いわさわ いしい み いわたり 岩澤・石井(美)・石渡
 電 話 03-4500-6625
 ファクシ 0120-119-147
 土日・祝祭日除く 9:00~17:00

消防職員傷害保険・医療保険(損害保険)
 全国消防保険サービス株式会社
 担 当 みわ こうもと みしな やすえ おざわ 三和・高本・三品・安江・小沢
 電 話 03-6807-5691
 ファクシ 0120-065-988
 土日・祝祭日除く 9:00~17:00

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。

・文章は、Word で200～400文字程度、写真は、1～2枚を Word に貼り付けて送付してください。

（貼り付けできない場合は、JPEG 画像データを送付してください。）

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 吉田 TEL:03-4500-6622

原稿データは、weekly@fcj.gr.jp に送信願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・**トップ・セカンド記事** 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・**消防ワイド** 写真中心の自由投稿 文章：Word 100 字程度／写真：JPEG 1 枚

【問合せ】：企画課・中西 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事：kikakoho@fcj.gr.jp 消防ワイド：honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、[全国消防長会ホームページ](#)を検索!!!

